

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	囲碁とコミュニティ創生 (The game of Go as means of community formation)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	藤永 博、今村 俊也(非常勤講師)、石塚 互、小田 将人		
実施場所	南紀熊野サテライト	区 分	学部開放科目
実施日・時間	①10月9日(土) 13:00~17:00 ③10月23日(土) 13:00~17:00 ⑤11月13日(土) 13:00~17:00		
	②10月16日(土) 13:00~17:00 ④11月6日(土) 13:00~17:00 ⑥11月27日(土) 13:00~17:00		
【授業の概要・ねらい】			
<p>囲碁は、「コミュニケーション能力」「論理的な思考力」「集中力」「忍耐力」「大局観」などを育むと考えられており、近年、多くの大学の授業で利用されています。和歌山大学でも、一般財団法人関西棋院と囲碁を教育に活用するための連携協力に関する協定を結び、教養科目「囲碁から広がる教養の世界」を開講しています。この授業では、一般財団法人関西棋院所属の今村俊也九段が受講生に囲碁の指導を行うとともに、囲碁の歴史的・文化的・社会的側面やプロ棋士の世界、人工知能に関連した話題などについて講義を行っています。</p> <p>「囲碁とコミュニティ創生」では、「囲碁から広がる教養の世界」のエッセンスを伝え、さらに囲碁をとおしたコミュニティ創生の可能性を模索します。授業では初心者から有段者までと一緒にプロの棋士の指導を受けるとともに相互に学ぶ時間を共有します。この体験をとおして「親密圏」の考え方を学び、さらにそれが「公共圏」あるいはコミュニティの形成につながる可能性について考えてみます。この授業(囲碁)をとおして南紀熊野サテライト(Big・u)の「コミュニティの中心」として機能がさらに高まることを期待しています。</p>			
【授業計画】			
<p>第1回 講義①「囲碁から広がる教養の世界」から 「囲碁の世界」について/「調和」について(吳清源棋話から)/「余暇活動」について/「岡目八目」について/「囲碁とAI」について グループ学習① 初心者、中上級者に分かれてプロ棋士などが囲碁の指導</p> <p>第2回 講義②「大学教育と囲碁」(経済学部 藤永 博) 「囲碁の知・入門編」(平本弥星、集英社新書)、「囲碁の力」(石井妙子、洋泉社)を参考にして、囲碁の効用や囲碁が私たちに教えてくれることについて考えてみます。 グループ学習② 初心者、中上級者に分かれてプロ棋士などが遠隔指導</p> <p>第3回 講義③「コミュニティの中心」(経済学部 藤永 博) 「コミュニティを問い直す」(広井良典、ちくま新書)のプロローグおよび第2章を参考にして「コミュニティの中心」について考えてみます。 グループ学習③ 受講生同士の練習対局およびピア・サポート</p> <p>第4回 講義④「親密圏の現代的意義」について(経済学部 藤永 博) 「家族-新しい「親密圏」を求めて」(岡野八代、岩波書店)を参考にして、重要な他者との密接な関係(親密圏)のなかで、自由なくわたし)はどのようにして可能となるのかを考えてみます。 グループ学習④ ベア碁 チーム戦</p> <p>第5回 講義⑤「公共圏と公共性」について(経済学部 藤永 博) 「公共性」(齋藤純一、岩波書店)を参考にして、公共性とコミュニティあるいは公共圏の関りについて考えてみます。 グループ学習⑤ プロ棋士との指導対局</p> <p>第6回 講義⑥「囲碁がつくる地域コミュニティ」(経済学部 藤永 博) この授業(囲碁)をとおして南紀熊野サテライト(Big・u)の「コミュニティの中心」として機能をさらに高める可能性を模索し、次年度の講座を企画できればと思います。 グループ学習⑥ 地域の囲碁の普及に関わる方々との交流</p>			
【到達目標】			
<p>①「コロナ後」の社会における地域コミュニティのあり方・役割について考察し、論証する。 ②囲碁をとおしたコミュニティ創生に向けた青写真を描く。</p>			
【教科書】			
使用しません。必要に応じて資料を提供します。			
【参考書】			
<p>「囲碁入門 九路盤が打てるまで」 一般財団法人関西棋院(350円) 「世界一厚い碁の考え方」 今村俊也(著) マイナビ 「囲碁の知・入門編」 平本弥星(著) 集英社新書 「囲碁の力」 石井妙子(著) 洋泉社 「コミュニティを問い直す一つながり・都市・日本社会の未来」 広井良典(著) ちくま新書 「公共性」 齋藤純一(著) 岩波書店 978-4000264297 「家族-新しい「親密圏」を求めて」 岡野 八代(著) 岩波書店</p>			
【成績評価の方法】			
レポート50%(講義内容に関するテーマ) グループ学習の成果報告50%			
【授業時間外学修についての指示】			
<p>①授業計画に沿って、参考書などを利用して予習・復習を行ってください。 ②インターネットなどを利用して受講生同士で囲碁の練習対局を行ってください。 ③レポートおよびグループ学習の成果報告は授業時間外に作成してもらいます。</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>授業中、グループ学習の時間を多くとりたいと思います。「親密圏」を体感できるよう積極的に参加してください。 ※基本的に授業は対面での実施を予定しますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			